

情報通信審議会 情報通信技術分科会
携帯電話等高度化委員会
700/900MHz帯移動通信システム作業班（第12回） 議事要旨（案）

1 日時

平成23年11月25日（金） 14:00～16:20

2 場所

三田共用会議所 4階 第4特別会議室

3 出席者（敬称略）

作業班構成員：

吉村 直子	(独)情報通信研究機構
石川 禎典	(株)日立製作所
石田 和人	クアルコムジャパン(株) (代理：内田 信行)
伊藤 健司	ノキアシーメンスネットワークス(株)
上杉 浩之	日本電気(株)
木津 雅文	トヨタ自動車(株)
草野 吉雅	京セラ(株)
小林 明	(社)電子情報技術産業協会
菅田 明則	KDDI(株)
杉本 明久	(社)日本CATV技術協会
高田 仁	(社)日本民間放送連盟
田中 伸一	ソフトバンクモバイル(株)
谷口 正樹	富士通(株) (代理：小野田 雅治)
土居 義晴	三洋電機(株)
中川 永伸	(財)テレコムエンジニアリングセンター
中津川 征士	日本電信電話(株) (代理：田邊 和弘)
中原 俊二	日本放送協会
浜名 康広	(財)日本移動通信システム協会
古川 憲志	(株)NTTドコモ
細野 清文	(株)ウィルコム
牧野 鉄雄	日本テレビ放送網(株) (代理：片柳 幸夫)
三浦 望	パナソニックモバイルコミュニケーションズ(株)
諸橋 知雄	イー・アクセス(株)
山本 裕彦	シャープ(株) (代理：藤内 紀彦)
要海 敏和	UQコミュニケーションズ(株) (代理：伊藤 泰成)

作業班に必要と認められる者

上田 隆	(株)NTTドコモ
小田 成司	KDDI(株)
野原 光夫	KDDI(株)

事務局：

総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 課長補佐 中越、同課 第二技術係長
 松元、同課 第二技術係 小池

4 配布資料

資料番号	配布資料	提出元
資料700/900移12-1	700/900MHz帯移動通信システム作業班(第11回)議事要旨(案)	事務局
資料700/900移12-2	地上デジタルテレビジョン放送からLTEへの干渉軽減技術に関する調査検討 ～状況報告～	KDDI
資料700/900移12-3	700MHz帯における携帯電話システムと地上テレビジョン放送システムとの間の電波干渉評価に関する調査検討 ～追加実験結果報告～	NTTドコモ
資料700/900移12-4	700/900MHz帯干渉検討進捗状況	NTTドコモほか
資料700/900移12-5	TV放送からLTEへの帯域内干渉検討の概要	KDDI
資料700/900移12-6	TV放送との干渉検討(TV放送からLTEへの干渉)	KDDI
資料700/900移12-7	LTEからTV放送への与干渉における追加検討	NTTドコモ
資料700/900移12-8	TV放送との干渉検討(LTEからTV放送への干渉)	NTTドコモ
資料700/900移12-9	ITSとの干渉検討における追加検討	NTTドコモ
資料700/900移12-10	ITSとの干渉検討	NTTドコモ
資料700/900移12-11	700/900MHz帯移動通信システムとFPUとのシステム間共用検討 ～追加検討～	KDDI
資料700/900移12-12	FPUとの干渉検討	KDDI
資料700/900移12-13	700/900MHz帯LTEとラジオマイクの共存に必要なガードバンド幅に関する追加検討	UQコミュニケーションズ
資料700/900移12-14	ラジオマイクとの干渉検討	UQコミュニケーションズ
資料700/900移12-15	FPU-ITS共存検討結果報告資料	FPU-ITS共存検討アドホックグループ
資料700/900移12-16	ITS とFPUとの干渉検討	FPU-ITS共存検討アドホックグループ
資料700/900移12-17	ラジオマイク-ITS共存検討結果報告資料	ラジオマイク-ITS共存検討アドホックグループ
資料700/900移12-18	ITSとラジオマイクとの干渉検討	ラジオマイク-ITS共存検討アドホックグループ
資料700/900移12-19	当面のスケジュール	事務局
参考1	700/900MHz 帯移動通信システム作業班 構成員	事務局
参考2	700/900MHz 帯における干渉検討の状況	事務局

5 議事概要

(1) 前回議事要旨について

前回議事要旨(案)(資料700/900移12-1)は、作業班構成員に事前に送付されていることから読み上げは省略して配付のみとし、気づきの点があれば、12月1日(木)までに事務局まで知らせることとなった。

(2) 700MHz帯の干渉検討の状況について

ア 地上デジタルTV放送から携帯電話への干渉に係る実証実験

KDDI 野原氏から、資料700/900移12-2に基づいて、地上デジタルTV放送から携帯電話への干渉に係る実証実験の状況について説明があった。

イ 携帯電話から地上デジタルTV放送への干渉に係る実証実験

NTTドコモ 上田氏から、資料81-700/900移12-3に基づいて、携帯電話から地上デジタルTV放送への干渉に係る実証実験の状況について説明があった。

(3) 700MHz帯の干渉検討について

ア 地上デジタルTV放送から携帯電話への干渉

菅田構成員から、資料700/900移12-5及び資料700/900移12-6に基づいて、地上デジタルTV放送から携帯電話への干渉検討について説明があった。

イ 携帯電話から地上デジタルTV放送への干渉

古川構成員から、資料700/900移12-7及び資料700/900移12-8に基づいて、地上デジタルTV放送から携帯電話への干渉検討について説明があった。

杉本構成員：資料700/900移12-7のP4の「LTEからTV放送への帯域外干渉に関する対策」のうち長期的対策について、無線系はこれでいいかもしれないが、TV受信機器については有線系でも使われている。有線系はリパック後においても770MHzまで使用することが認められているため、関係機関との協議についてはCATV事業者の団体も含めて頂きたい。

事務局：TV受信機器に対する対策を考えていかなければならないという認識はあるが、具体的なものはまだない。今後関係者が集まって、実際にTV受信機器を作るにあたって考慮しなければならないことなどについて議論していく必要があるとは考えている。

ウ ITSとの干渉検討

古川構成員から、資料700/900移12-9及び資料700/900移12-10に基づいて、携帯電話とITSとの干渉検討について説明があった。

エ FPUとの干渉検討

KDDI 小田氏から、資料700/900移12-11及び資料700/900移12-12に基づいて、FPUとの干渉検討について説明があった。

オ ラジオマイクとの干渉検討

伊藤（要海構成員）代理から、資料700/900移12-13及び資料700/900移12-14に基づいて、ラジオマイクとの干渉検討について説明があった。

カ I T SとF P Uとの干渉検討

土居構成員から、資料700/900移12-15及び資料700/900移12-16に基づいて、I T SとF P Uとの干渉検討について説明があった。

キ I T Sとラジオマイクとの干渉検討

土居構成員から、資料700/900移12-17及び資料700/900移12-18に基づいて、I T Sとラジオマイクとの干渉検討について説明があった。

田中構成員：所要改善量が残ったときの対策として、フィルタの実力値等で対策可能となっているが、フィルタの実力値が明確にされていないため、なぜ改善可能なかがわからない。

土居構成員：フィルタの実力値は機器によりばらつきがあるため、メンバー内で、実力値を考慮した上で検討するのが妥当だろうという認識を持って議論を進めてきている。

吉村主任代理：個々の性能を出さなくても、所要改善量をクリアできる見込みがあるという結論だということか。

土居構成員：アドホックメンバーで議論した結果、問題ない数値であるとの結果を導いたものである。

事務局：ラジオマイクとI T S、F P UとI T Sの検討結果については、I T Sの技術基準を審議する委員会で議論いただき、既にまとめられたものであり、その中身を本委員会に引用するような位置付けと考えている。そのため、本作業班で検討結果を記述の変更等を行うのは適当ではないと考えている。

(4) 当面のスケジュールについて

事務局から、資料700/900移12-19に基づいて、当面のスケジュールについての説明があった。

(5) その他

事務局から、次回作業班については12月13日(火)に予定しており、詳細については別途連絡することが連絡された。

以上